

令和7年5月20日

各位

会社名 フリージア・マクロス株式会社
代表者 代表取締役 奥山 一寸法師
(コード番号 6343 東証スタンダード)
問合せ先 会計責任者 村田 幸生
電 話 03-6635-1833

営業外収益（持分法による投資利益）の計上及び業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、令和7年3月期において、持分法による投資利益を計上いたしましたのでお知らせすると共に、業績予想と当期実績との差異について下記のとおりお知らせいたします。

1. 持分法による投資利益の内容

当社は、持分法適用関連会社である技研ホールディングス(株)（証券コード：1443）、ソレキア(株)（証券コード：9867）、(株)協和コンサルタンツ（証券コード：9647）及び(株)ラピーヌ（証券コード：8143）の決算報告に基づき当期において、持分法による投資利益678百万円を計上いたしました。

2. 令和7年3月期業績予想と実績の差異

令和7年3月期業績予想と実績の差異（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 7,000	百万円 900	百万円 1,500	百万円 600	円 銭 13.33
今回実績（B）	6,971	1,348	1,984	906	20.15
増減額（B－A）	△28	448	484	306	－
増減率（％）	△0.4	49.9	32.3	51.1	－
（参考）前期実績 （令和6年3月期）	6,720	1,032	1,541	657	14.61

（差異の理由）

当連結会計年度における連結損益は、売上高が6,971百万円と予想数値に比べ28百万円（0.4％）減少しましたがほぼ予想どおりの数値となりました。営業利益は経費削減等により1,348百万円と予想数値に比べ448百万円（49.9％）増加し、経常利益は持分法適用会社の業績が予想以上であったため1,984百万円と予想数値に比べ484百万円（32.3％）増加し、親会社株主に帰属する当期純利益は906百万と予想数値に比べ306百万（51.1％）の増加となりました。

以上